



防犯力の向上について
志政会 市川 敏彦

問 海老名駅西口のまち開きに伴い、今後ますます多くの人々が本市に来訪されることが予想され、それに伴って万引きや自転車の窃盗などの犯罪増加も懸念されます。本市では、今までも防犯力向上に努められてきていることについては評価します。

これまでの対策についてと28年度はどのような取り組みをしていくのか伺います。

答 (市長) : 今後発展していく本市について、犯罪がない安全安心なまちづくりは重要課題です。防犯灯や防犯カメラで犯罪抑止に努めており、パトロールも重要な要素となっています。駅周辺には他市から多くの子どもたちが来ていますが、海老名は安心だと言われています。警察関係者からも安全でまちがきれいだと聞いています。そういうことが重要と思っており、野放団な行動などがされれば誰もがしてしまいますので、自由通路などは条例で届出制、許可制にしています。そういう部分をしっかりと踏まえて、まちづくりを進めていきます。

答 (市民協働部長) : 防犯カメラの効果的な設置が防犯上有効ですので、28年度も引き続き犯罪抑止効果の高いと思われる場所に、犯罪学の専門家などの助言をいただきながら、計画的に設置してまいります。

- ・他の質問
- ・女性消防吏員について



子どもの貧困に対する
施策について
日本共産党 松本 正幸

問 日本の子どもの6人に1人が貧困状態であり急速に広がっています。ひとり親家庭では親が夜遅くまで働いても収入が少なく満足な食事を与えられない子どもも多いと聞きます。夕食を食べられない子どもなど、食卓を囲む環境の上でも異常な状況が起きています。

そんな中で子どもたちに健康的な食事を無料または低料金で提供する「子ども食堂」が広がっています。

子どもの成長に欠かせないその年齢に応じた栄養のバランスのとれた食の提供は糖尿病などの生活習慣病を防ぐ効果があり、将来の保険給付費の増大を防ぐことにつながります。市の見解を伺います。

答 (市長) : 貧困で食事がとれない状況、そういう子どもの実態が本当にあるならば、十分検討していきたいと思っています。給食センターではできませんが、食の創造館では食事を作れます。作ったものをあらゆる程度の場所に配食することもできますので、十分実態を把握しながら検討していくたいと思っています。教育長と相談して、小中学校で実態を調査すれば分かることだと思います。

- ・介護保険制度について
- ・他の質問



かがやき持続総合
戦略について
創新海フラブ 市川 洋一

問 まち・ひと・しごと創生法を受け市は二月に人口ビジョン、かがやき持続総合戦略を策定しました。この中で①若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる②まちのかがやきを持続する拠点性を高める③元気な産業活動を支えるまちの基盤づくり④まちの魅力向上とシティセールスの推進を基本目標としており、各施策を重要業績評価指標(KPI)で評価し、PDCAサイクルを回すのですが、誰がいつ評価し改善するか伺います。

また、取り組んでいく「健康状態見える化コーナーの設置連携事業」、「にぎわい振興事業」の課題と対応策について伺います。

答 (市長) : 健康寿命を延ばす取り組みは今後ますます必要になります。にぎわい振興事業は、今後の市の商・工・農業の発展に大きく貢献するものと考えます。

答 (財務部長) : 外部評価委員による評価を毎年実施したいと考えています。

答 (保健福祉部次長) : このコーナーは県の未病センターにもなり、県と協働し近隣7市町村と足並みを揃え、事業を推進します。

答 (経済環境部次長) : にぎわい振興条例に基づく振興計画の早期策定と各種事業の実施で、にぎわいを創出してまいります。

- ・他の質問
- ・海老名市ふるさと納税返礼品事業について
- ・市役所本庁舎と小中学校の防災対策について



消防団員充実強化
推進事業について
真志会 中込 淳之介